

田川市子ども読書活動推進計画

令和4年3月

田川市教育委員会

(文化生涯学習課)

目 次

I これまでの取組と課題（平成28年度～令和2年度）

- 1 取組と成果 P 1
- 2 現状と課題 P 3

II 基本的な考え方

- 1 計画の目標 P 8
- 2 計画推進のための基本方針 P 8
- 3 計画の対象 P 8
- 4 計画の期間 P 8

III 推進のための方策

- 1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進 P 9
- 2 子どもの読書活動推進のための環境の整備・充実 P 10
- 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及 P 12

I これまでの取組と課題（平成28年度～令和2年度）

1 取組と成果

(1) 地域・学校における子どもの読書活動の推進

ア 地域

(7) ボランティア養成講座の取組

「絵本の読み聞かせボランティア養成講座」を継続的に開催し、学校や家庭での読み聞かせの講習を実施しました。

読み聞かせボランティア養成講座	平成23年度から27年度(A)	平成28年度から令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
年度平均参加者数	48.25人	15.75人	△32.5人

※ 平成27年度は、読み聞かせボランティア養成講座は開催されませんでした。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止しました。

(4) ブックスタート事業の実施

平成21年度からブックスタート事業を実施しており、ボランティアの協力も得ながら実施率を上げています。

ブックスタート事業	平成23年度から27年度(A)	平成28年度から令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
年度平均実施率	93.24%	93.55%	0.31P

イ 学校

一斉読書運動の定着

学校における一斉読書運動はPTAによる読み聞かせ等、各小中学校が多様な形で実施しています。

(2) 子ども読書活動推進のための施設・設備等の整備・充実

ア 図書館

市民に対する直接サービスとして、おはなし会の実施のほか、各種テーマに添った特集コーナーを設置し、本に親しむ環境の整備に努めました。

また、平成27年10月1日より指定管理者制度を導入して、民間のノウハウを活かした、レイアウト変更やイベントを実施しています。

おはなし会参加者 年度平均	平成23年度か ら27年度(A)	平成28年度か ら令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
子ども	563.75人	113.75人	△450人
大人	352人	62人	△290人
合計	915.75人	175.75人	△740人

※ 平成25年度は、図書館の耐震・改修工事を行い11月・12月を休館したため11回のおはなし会が中止となりました。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、おはなし会を一部休止しました。

イ 学校図書館

田川市では、学校図書館司書員は業務委託により、各小中学校に1名配置で16人が配置されています。

(3) 図書館と学校図書館との連携・協力

ア 移動図書館車

通常の貸出し以外に、調べ学習のための資料の提供等を行いました。

また、平成26年度に調べ学習専用の図書を各学校の要望に応じて購入し、利用に供しています。

イ 職場体験の受入

進路学習の一環として、中学生の職場体験を受入れました。

職場体験	平成23年度から 27年度(A)	平成28年度か ら令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
年度平均受入数	52人	62人	10人

ウ 読書リーダー養成講座の開催

平成26年度から小学生期における読書活動の充実と読書習慣の定着を図るため、小学生読書リーダーの養成を行いました。

小学生読書リーダー養成講座	平成26・27 年度(A)	平成28年度から 令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
年度平均受講者数	13.5人	30.4人	16.9人

(4) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

「子ども読書の日」イベント、「読書まつり」、「絵本の森クリスマス会」等のイベントを実施し、読書活動の理解と普及を図りました。

年度平均参加者数		平成23年度から 27年度(A)	平成28年度から 令和2年度(B)	成果 (B)-(A)
読書まつり	子ども(人)	34.6	31	△3.6
	大人(人)	48.4	31	△17.4
	合計(人)	83	62	△21
子ども読書の イベント	子ども(人)	35	26.75	△8.25
	大人(人)	36.2	23.75	△12.45
	合計(人)	71.2	50.5	△20.7
絵本の森 クリスマス会	子ども(人)	77.5	98.5	21
	大人(人)	40.5	52	11.5
	合計(人)	118	150.5	32.5
合計	子ども(人)	147.1	166.25	19.15
	大人(人)	125.1	106.75	△18.35
	合計(人)	272.2	273	0.8

※ 平成25年度は、図書館の耐震・改修工事を行い11月・12月を休館したため、「絵本の森クリスマス会」は中止となりました。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント全てが中止となりました。

2 現状と課題

(1) アンケートからみる田川市の現状

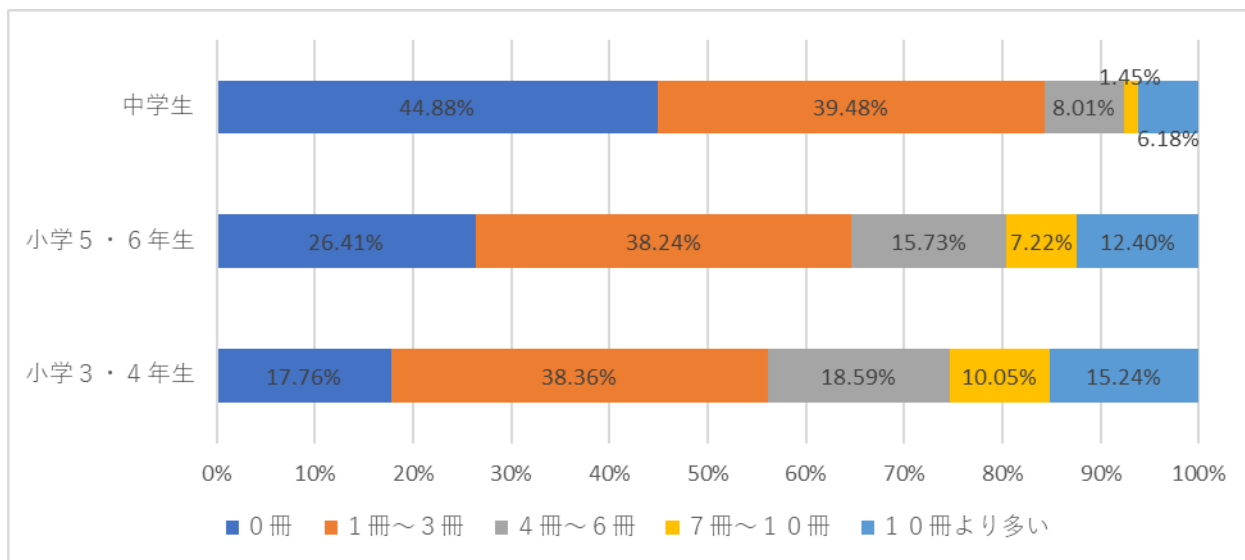
子ども読書推進計画策定のため、令和3年度に市内の小・中学生に対して「田川市子ども読書活動に関するアンケート調査」を実施しました。

アンケートの結果、1か月間に1冊も本を読まなかった割合（不読率）は、小学3・4年生17.8%、小学5・6年生26.4%、中学生44.9%となっており、学年が上がるにつれて本を読まなくなる傾向にあります。

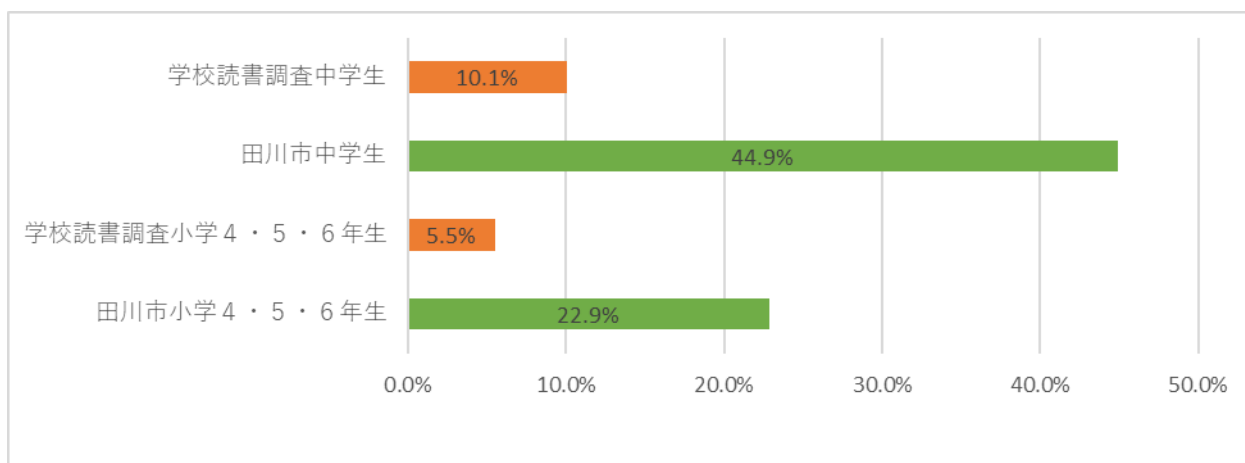
令和3年度に実施された第66回学校読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社共同実施）の結果と比較すると、小学4年～6年生では田川市22.9%に対して学校読書調査5.5%、中学生は田川市44.9%に対して学校読書調査10.1%と、

田川市は不読率が高く、特に中学生では1か月間に1冊も本を読まなかった子どもが4割以上に及んでいることが判りました。

【1か月間に読んだ本の冊数】



【1か月間に1冊も本を読まなかった割合】

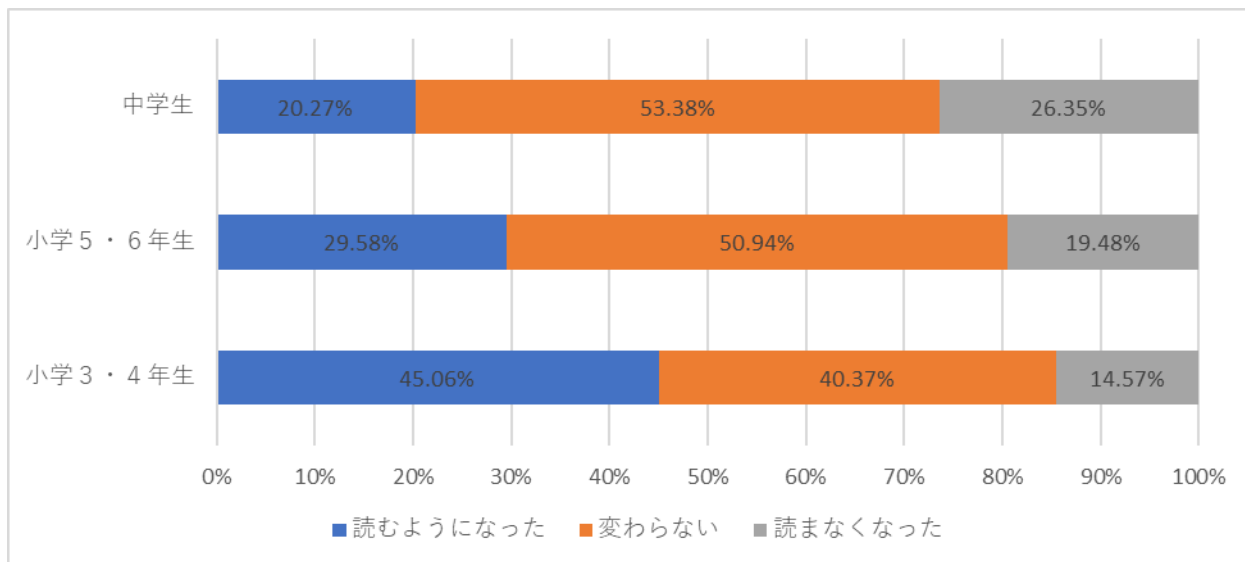


また、去年より本を読むようになったかの設問では、小学3・4年生で「読むようになった」が45.1%、小学5・6年生と中学生では「変わらない」がそれぞれ50.9%、53.4%と最も多くなっています。次に多い回答は、小学3・4年生では「変わらない」の40.4%、小学5・6年生では「読むようになった」の29.6%、中学生では「読まなくなった」26.4%となっています。

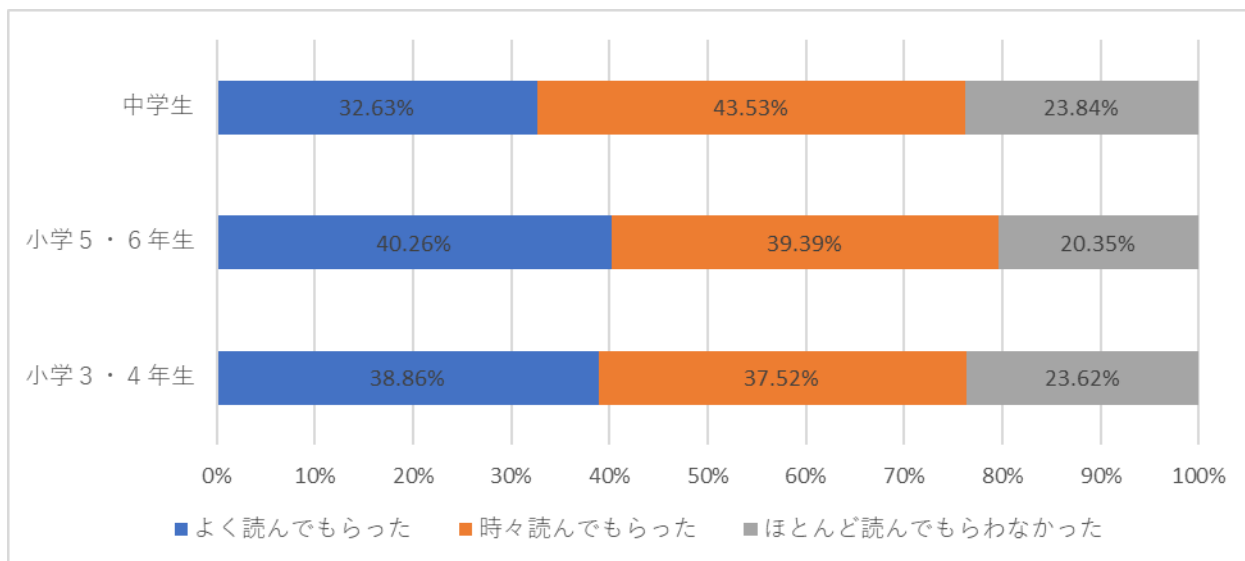
小さい頃の家庭での読み聞かせの設問では、「よく読んでもらった」と「時々読んでもらった」を合わせて、小学3・4年生76.4%、小学5・6年生79.7%、中学生76.2%となっています。

このことから、7割以上の子どもが読み聞かせの経験がありながら、学年が上がるにつれて読書量が減少する傾向にあり、読書習慣が定着していないことが伺えます。

【読書状況（去年との比較）】



【小さい頃の家庭での読み聞かせ状況】



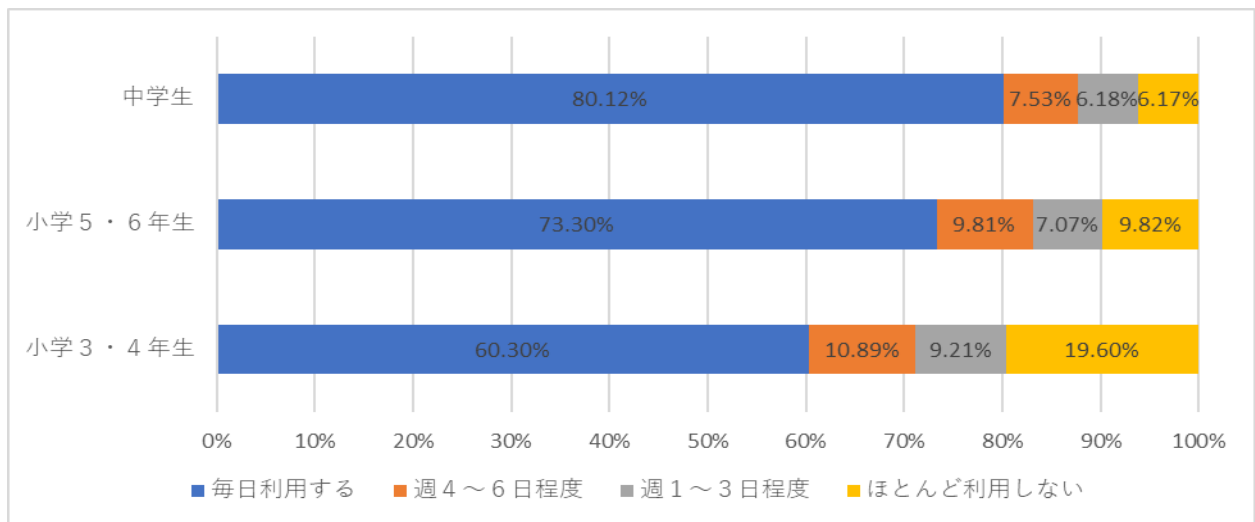
この他、インターネットの利用状況は「毎日利用する」が小学3・4年生60.3%、小学5・6年生73.3%、中学生80.1%で、逆に「ほとんど利用しない」が小学3・4年生19.6%、小学5・6年生9.8%、中学生6.2%となっています。

インターネットの利用時間は「1時間未満」が小学3・4年生28.5%、小学5・6年生17.3%、中学生7.2%で、「5時間以上」が小学3・4年生22.8%、小学5・6年生27.4%で、中学生33.3%となっています。

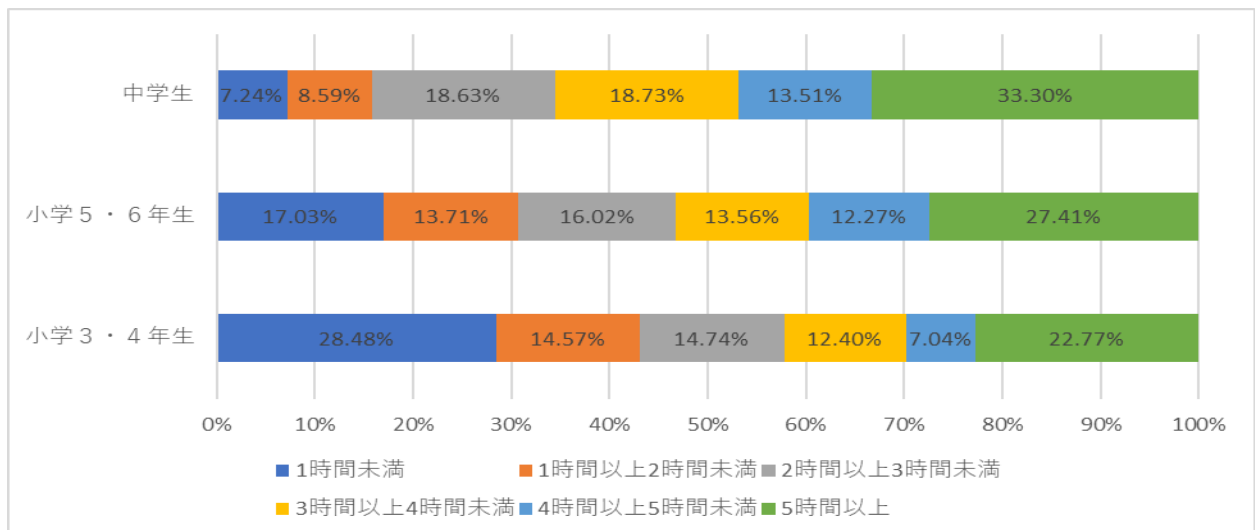
インターネットの利用内容では、小学3・4年生では「ゲーム」30.7%「動画」29.3%「調べもの」16.7%「音楽」16.3%、小学5・6年生では「動画」26.7%「ゲーム」25.4%「調べもの」20.0%「音楽」19.2%、中学生では「動画」25.4%「ゲーム」21.9%「音楽」21.5%「調べもの」20.4%の順で多くなっています。また、「電子図書」の利用が、小学3・4年生で2.7%、小学5・6年生で3.3%、中学生で6.3%と、各学年で若干ながら見られます。

このことから、小学生の時からインターネットを使用している児童の割合が高く、利用時間も学年が上がるにつれて長くなる傾向にあり、その用途は調べもの等の学習活動も含まれているものの、ゲームや動画、音楽が7割前後を占めており、読書離れの要因となっていることが考えられます。

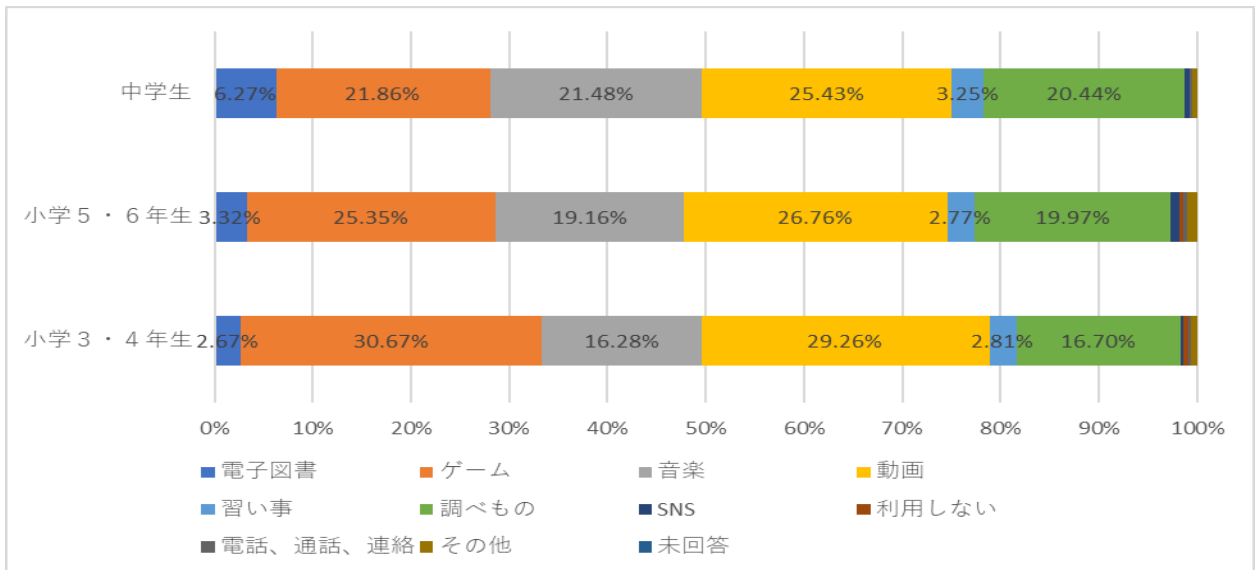
【インターネットの利用状況】



【インターネットの利用時間】



【インターネットの利用内容】



(2) 田川市の課題

小さい頃の読み聞かせは多くの家庭で行われているものの、インターネットの利用増加と相対して、子どもの読書量は学年が上がるにつれて減る傾向にあります。

これらの状況を改善し読書習慣を定着させていくためには、子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会や、子どもを取り巻く読書環境をより充実させていくことが必要です。

そのために、家庭・地域・学校等が連携し、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことや、子どもにとって身近な大人が読書の意義や楽しさについて理解と関心を持つことが求められます。

Ⅱ 基本的な考え方

1 計画の目標

子どもがそれぞれの発達段階・個性に応じ、自主的な読書活動ができるような環境づくりを推進します。

2 計画推進のための基本方針

(1) 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

子どもにとって身近な環境である「家庭」「地域」「学校」が連携して、読書活動の取り組みに努めます。

(2) 子どもの読書活動推進のための環境の整備・充実

市立図書館・学校図書館等が中心となった施策を推進するとともに、読書活動ができる環境の整備・充実に努めます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

保護者、教職員、保育士、各関係機関、団体等に対して子どもの読書の意義や重要性の理解と関心を深める普及啓発に努めます。

3 計画の対象

おおむね18歳以下の子どもとします。

4 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

Ⅲ 推進のための方策

1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

保護者に対して、子育てにおける読み聞かせや読書の重要性について意義を理解してもらえよう、あらゆる機会と場所を通じて啓発に努めるとともに、家庭においても本に親しみ、より身近に感じられるための活動を推進します。

ア 乳幼児期

家族みんなで絵本を読み合い楽しめるような雰囲気をつくることや、家庭で絵本に親しむ時間を設け、子どもの本や読書に対する関心を高めることが求められます。

保護者へ育児における語りかけや読み聞かせの重要性の発信に取り組み、子どもが家庭内でも本に親しめるように働きかけます。

イ 学童期

幼児期に引き続き、子どもの本や読書に対する関心を高めることが求められます。

保護者との連携を深め、子どもと家族で本を読み、本を読んで感じたことなどを家庭内で話し合う「うちどく」の推進など、子どもが家庭内でも本に親しめるように働きかけます。

ウ 青少年期

子どもがテレビやゲーム等に長時間接することがないように、そのデメリットを諭しながら、家庭内での読書の時間をつくることが求められます。

様々なことに興味を持つ子どもの読書活動を見守り、子どもが家庭内でも本に親しめるように働きかけます。

(2) 地域における読書活動の推進

読書ボランティア団体の現状や活動状況を把握し、学校・市立図書館・関係施設等での活動の場を提供するための取組を積極的に行います。

ア 市立図書館における読書活動の推進

- (ア) ボランティアの参加促進と発掘・活用
- (イ) ボランティア養成・情報提供等の取組の推進
- (ウ) 市立図書館における子どもの読書活動推進のための事業の実施
- (エ) 一般市民に対する啓発活動
- (オ) 読書リーダーとして活動できる人材の育成

- イ 読書ボランティア団体等における連携及び読書活動の推進
- ウ 保健センター等との連携による読書活動の推進
- エ 地域における子どもの読書活動推進機関・団体の連携による読書活動の推進
 - (7) 読書ボランティア交流会の実施
 - (4) 幼稚園・保育所・学校への読書ボランティア派遣事業の展開

(3) 学校等における読書活動の推進

学校は、子どもの発達段階に応じて子どもの読書習慣を定着させる意味で大きな役割を担っていることから、指導する立場にある教職員自身が読書の喜びや意義について理解を深めるとともに、市立図書館と協働で様々な取組を実施し、読書活動の推進を図っていきます。

- ア 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間での学校図書館の計画的活用
- イ 児童生徒が読書に親しむ態度の育成
- ウ 校内の推進体制の整備・充実・意識の高揚
- エ 障がいのある子どもの読書活動の推進
- オ 教職員等を対象とした読書推進研修会の実施
- カ 乳幼児が絵本や物語に親しむ活動の積極的な推進
- キ 読書ボランティア等の積極的な人材活用
- ク 保護者等に対する啓発・普及
- ケ 異年齢交流を通じた読書活動の機会の提供

2 子どもの読書活動推進のための環境の整備・充実

(1) 図書館

子どもの読書活動推進の拠点として、次のような取組を今後も継続して行います。

- ア 市立図書館児童室活動の充実
 - (7) 定例おはなし会の実施、子どもに薦めたい本のリストの作成、絵本・特集コーナーの設置、情報提供
 - (4) 市立図書館専門職員等の育成を目的とした実務研修講座への派遣
 - (6) 各幼稚園、保育所、学校・ボランティア団体等への図書の出出
 - (5) ボランティアの資質向上のための講座の実施
 - (7) 関係機関と連携した市内の子ども読書活動に関する調査の実施
- イ 豊富で多様な図書資料の整備

- (7) 児童用図書・子どもの本や子どもの読書活動に関する資料の整備・充実
- (4) 地域の方言、郷土文化等に関する豊かで多種多様な図書資料の収集・提供
- ウ 移動図書館車の整備推進
- エ インターネットを活用した電子図書の貸出・図書検索・予約等、図書館情報化の推進
- オ 司書の適切な配置、研修の充実
- カ 障がいのある子どもへの諸条件の整備・充実

(2) 学校図書館等

子どもの自由な読書活動や読書指導の場としての機能と、教育課程の展開に寄与する場としての機能を果たし、学校教育の中核的な役割を担うものとして、市立図書館や学校図書館協議会等との連携を図りながら、子どもの知的活動を増進し、多様な興味・関心にこたえる魅力的な図書資料を整備・充実させていきます。

ア 読書ボランティア等の人材の活用

イ 幼稚園・保育所

- (7) 本に触れられるスペースの確保
- (4) 発達段階に応じた図書の選定

(3) 図書館及び学校図書館等との連携

子どもの読書活動を推進する上で、相互に連携、協力することで、図書資料や情報について相互利用や協力活動を実施していきます。

ア 学校への図書貸出や子どもに対する読書活動の推進

市立図書館から学校に対し、絵本をはじめとするあらゆる図書資料や調べ学習用の貸出セット等を提供するなど、子どもの豊かな読書環境を整備していきます。

また、学校と連携・協力し、子ども対象の読書推進行事の実施や、PTA図書委員への研修を実施することで、子どもに本の楽しさを知ってもらい、読書に対する興味・関心を持たせるよう努めます。

イ 図書館の広域ネットワーク化

子どもの読書環境を豊かにするために、インターネット上からの蔵書検索や予約、図書館間の相互貸借や横断検索等に今後も継続して取り組みます。

ウ ICT教育と電子図書による読書活動の推進

学校におけるICTの取組と電子図書館の有効利用を目的に、市立図書館と市内小中学校が連携し、子どもたちの読書推進に取り組んでいきます。

エ 学校と家庭・地域が連携した取組の促進

子どもの読書活動推進の先進的事例等の情報を収集し、教職員・保護者・読書ボランティアに対し、その事例を紹介することで、子どもの読書活動の意義を理解してもらい、学校と家庭・地域との連携・協力を推進します。

オ 市石炭・歴史博物館等との連携・協力

田川市石炭・歴史博物館や田川市美術館と、市立図書館とが施設の特色を活かした連携を行い、子どもの読書活動の推進に効果的な取組を行います。

カ 大学図書館との連携・協力

福岡県立大学附属図書館と市立図書館との相互貸借などの取組を推進するよう努めます。

3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

(1) 総合的な子どもの読書活動の推進

市内の民間団体等との連携・協力体制の整備を継続的に検討するため、田川市図書館協議会において状況を把握しながら、子ども読書活動の推進に努めます。

(2) あらゆる機会を通じた啓発広報の推進

市民に対して、子どもの読書活動の意義について、メディア等を通じて広報に努めるとともに、子育てに関する講座等の機会を活用して、広く啓発に努めます。

また、電子図書コンテンツを紹介する配布物を作成するなど、子どもに電子図書をもっと読んでもらうための取組に努めます。

(3) 「子ども読書の日」を中心とした事業の実施

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるために、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるためのイベントの実施に努めます。